

# キャンプ瑞慶覧返還予定地区 まちづくりニュース

発行：宜野湾市基地政策部基地跡地対策課

TEL 098-893-4411 (内線 308)

2003年1月 Vol.2

将来のまちの構想図を考えました。

去る12月16日、まちづくり代表者による第2回ワークショップにおいて、将来のまちの構想を考えました。その結果を整理した結果、1つの構想図が出来上がりました。それについて、市の職員で構成される跡地対策会議及び幹事会、学識経験者等で構成される委員会でそれぞれ意見を伺いましたので、権利者のみなさんにご報告いたします。

## 1. 第2回ワークショップの様子です。

(方向性について確認しました。)



(将来のまちについて考えました。)



(互いに意見を言い合いました。)



(各班ごとに構想図を作成しました。)(構想図が出来上がってきました。)



(各班毎に発表しました。)





### 3. 構想図に対する各種会議での意見

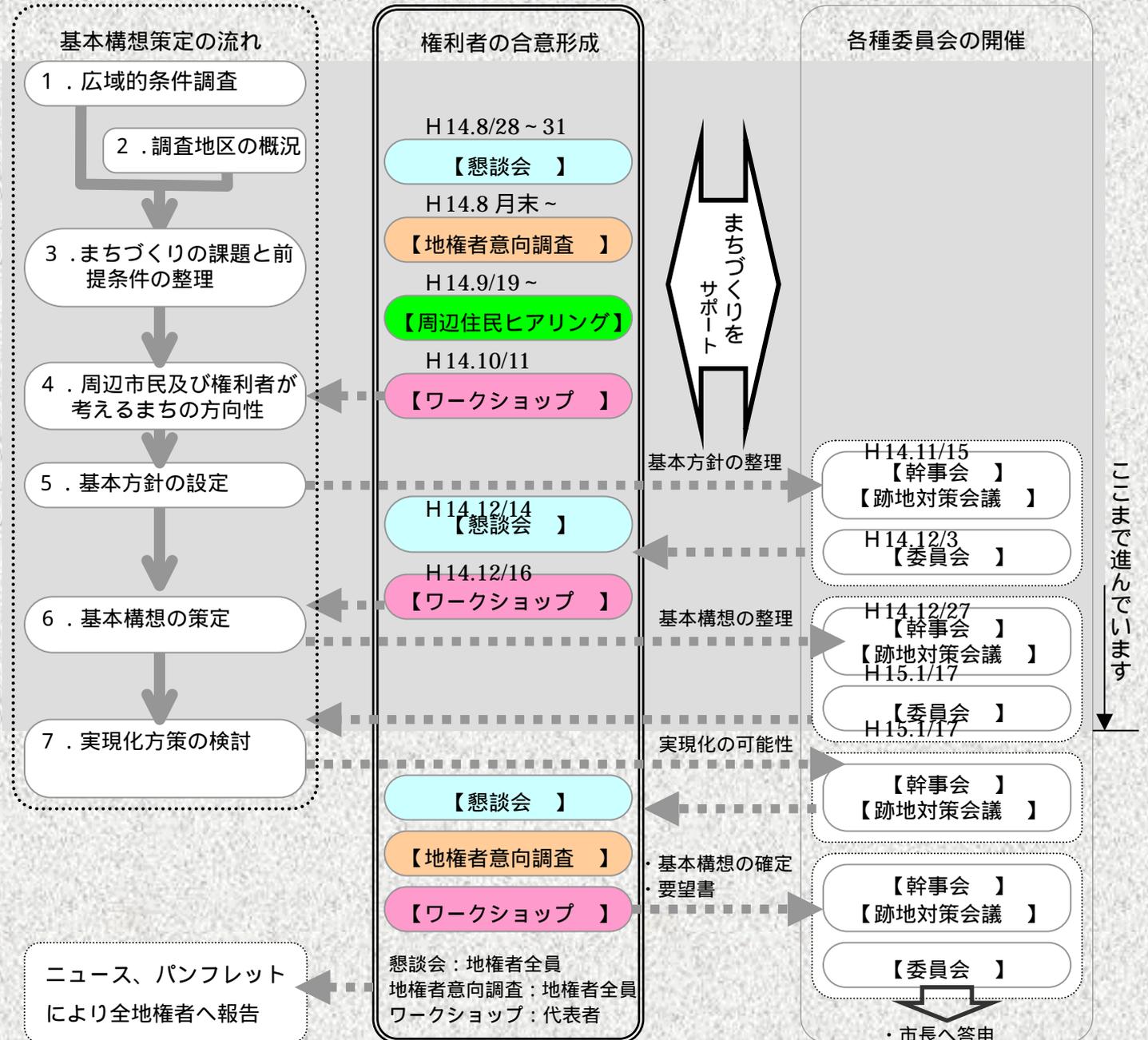
	第2回 幹事会・跡地対策会議	第2回委員会
構成員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幹事会 ...基地政策部長、市関係部署の次課長クラス 10 名</li> <li>・ 対策会議 ...助役、市関係部署の部次長クラス 11 名</li> </ul>	学識経験者、行政関係者、地権者代表、等 16 名
開催日	平成 14 年 12 月 27 日 (金) ...幹事会 平成 15 年 1 月 17 日 (金) ...対策会議	平成 15 年 1 月 17 日 (金)
会議の様子		
会議の内容	<p>【中部縦貫道路】 (質疑) 中部縦貫道路の位置づけは。 (事務局) 県の総合交通体系調査の中で位置づけられている。</p> <p>【事業成立性】 (質疑) 緑地部分が多いため、事業が成立しないことも考えられるが。 (事務局) 事業が成立しなかった場合、緑地の取扱いについてどうするのか、地権者が選択していかねばいけないと考えている。</p> <p>【「自然と一体となった低層住宅地」の実現性】 (質疑) 将来 R 58 側の軍用地に高層の建物が建つのであれば、地区西側の低地部分を低層に抑える意味がなくなる。 (事務局) 今年 9 月策定予定の市都市マスタープラン(素案)の中で R 58 周辺の土地利用が設定されれば、それを次年度の基本計画において反映していく。</p> <p>【「自然と一体となった低層住宅地」の実現性】 (質疑) 本エリアは低地にあるがアクセスは可能か。 (事務局) 実現性について今から検討を進める。</p>	<p>【中部縦貫道路】 (質疑) 中部縦貫道路については、線形等に不確定要素が多いが大丈夫か。 (事務局) 今後、実現化に向けて検討・調整を進めていきたい。</p> <p>【字喜友名の土地利用】 (質疑) 喜友名の水田地帯だったところは、公園化等の検討も必要では。 (事務局) 今後の検討課題として考えている。</p> <p>【公営住宅】 (質疑) 公営住宅は必要か。 (事務局) 市の上位計画で位置づけられている。</p> <p>【眺望】 (質疑) 中高層住宅地を配置すると、地区外からの眺望を妨げることになるが。 (事務局) 難しい問題である。今後の課題として検討を進めていきたい。</p> <p>【普天満宮までの一体的利用】 (質疑) まちづくりの観点から、普天満宮までの間の県道沿線は一体的に利用すべきではないか。 (事務局) そのような課題が出てきたら、関係機関と調整していきたい。</p>
結論	・ 基本構想について了解を得る。	・ 基本構想について了解を得る。

# まちづくりの流れ（平成14年度）

第2回ワークショップにより権利者の考える構想図が出来上がり、各種会議においても了解を頂きました。次のステップでは、この構想図が実現可能なものかどうか検討を行います。権利者のみなさんへは、跡地対策会議及び幹事会を経て、平成15年2月に予定している第3回まちづくり懇談会の場で、構想図及び実現化に向けての課題について説明したいと思います。

みなさんのまちの将来像を確認しに、是非、第3回まちづくり懇談会に足を運んでください。

基本構想策定までの流れと現在の段階を確認しましょう。



問い合わせ先

宜野湾市基地政策部基地跡地対策課 仲村、比嘉

TEL 098-893-4411(内線308) FAX 098-892-7022